

強靱な上下水道 ~災害時においても機能を維持できる強靱な上下水道を目指します~

川崎市は、人口密度が高く、事業所や研究開発機関等が集積しています。大規模地震や津波といった災害等の非常時でも、市民や事業者の生命・財産を守るため、施設機能に重大な影響が及ぶことなく、被害を最小限に抑制し、迅速に復旧する上下水道を目指します。



長沢浄水場の更新・耐震化



末吉配水池の更新・耐震化



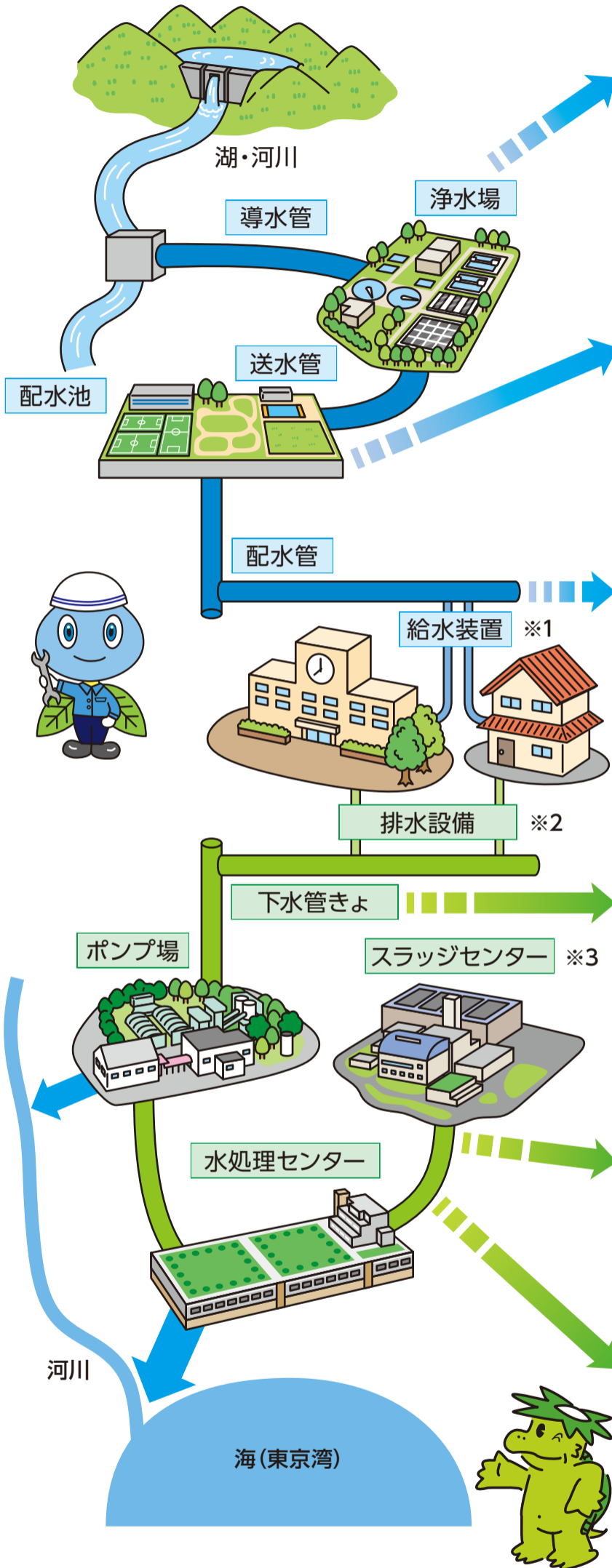
配水管の更新・耐震化



観音川ポンプ場管理棟の耐震化



入江崎水処理センター西系施設の再構築事業にあわせた津波対策
(津波浸水深を考慮した床高設定による耐水化)



川崎市の基幹的な水道施設である長沢浄水場については、施設の更新を実施し、あわせて耐震化を行うとともに災害時の停電などでも浄水場の運転が継続できるように、電気系統を二重化しています。

配水池は浄水場で作った水道水を一時的にためておく施設で、潮見台配水池や末吉配水池などの耐震化を進めています。

水道管路については、約40kmの更新を年間目標として、主に経年化が進行した管路の更新を実施し、あわせて耐震化を進めています。このうち、重要施設への供給ルート of 管路や地震時の被害が懸念される老朽配水管を重要な管路と位置付け、平成34年度を目標に耐震化を完了します。

大規模地震発生時にも、市民生活への影響を最小限にするため、下水道機能の確保が必要となる避難所や重要な医療機関等と水処理センターとを結ぶ管きよなど、重要な管きよを優先して耐震化を進めています。

水処理センター・ポンプ場では、下水が管きよ内に滞留して市街地に溢れないように、施設を運転・制御する機能と下水を下流へ流す機能の確保を目的に、管理棟や揚水ポンプ設備などの耐震化を優先的に進めています。

水処理センター・ポンプ場では、津波対策として、施設内に津波が浸入しないように、施設の再構築にあわせて津波浸水深を考慮した床高設定による耐水化を行っているほか、既存施設においては防水扉の設置等による防水化を行っています。

- ※1 給水装置とは、水道の配水管から、各家庭に水道水を取り入れるための給水管等です。
- ※2 排水設備とは、各家庭から汚水等を下水道の管きよに流すための排水管等です。
- ※3 市内の水処理センターから送られてくる下水汚泥を集約処理(濃縮・脱水・焼却)している施設です。

水道に関すること 水道計画課 ☎ 044-200-2497 044-200-3943
下水道に関すること 下水道計画課 ☎ 044-200-2886 044-200-3980

お引越しが決まりましたら、お引越し日の4~5日前までにお客さまセンターにご連絡ください。